

令和5年度

壬生町下水道事業会計補正予算  
(第2号)

栃木県下都賀郡壬生町



## 令和5年度壬生町下水道事業会計補正予算（第2号）

（総 則）

第1条 令和5年度壬生町下水道事業会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出の補正）

第2条 予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
支 出			
第1款 下水道事業費用	1,520,465千円	△27,738千円	1,492,727千円
第1項 営業費用	1,422,829千円	△27,738千円	1,395,091千円

（資本的収入及び支出の補正）

第3条 予算第4条本文括弧書を「（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額582,697千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額21,449千円、当年度分損益勘定留保資金284,199千円、減債積立金60,000千円、当年度利益剰余金処分量217,049千円で補てんするものとする。）」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
支 出			
第1款 資本的支出	1,716,996千円	413千円	1,717,409千円
第1項 建設改良費	1,164,856千円	413千円	1,165,269千円

（議会の議決を経なければ流用することのできない経費の補正）

第4条 予算第10条に定めた経費の金額を次のように改める。

(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
(1) 職員給与費	83,194千円	△350千円	82,844千円

（利益剰余金の処分の補正）

第5条 予算第12条を次のように改める。

当年度利益剰余金のうち217,049千円は、次のとおり処分するものと定める。

(1) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額の補てん	217,049千円
--------------------------------	-----------

令和5年11月30日提出

壬生町長 小 菅 一 弥



# 下水道事業会計補正予算に関する説明書



令和5年度壬生町下水道事業会計補正予算実施計画

令和5年度壬生町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

令和5年度壬生町下水道事業予定貸借対照表

注

記

表

## 令和 5 年度壬生町下水道事業補正予算実施計画

収益の収入及び支出

支 出

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計
1 下水道事業費用	1 営業費用		1,520,465	△27,738	1,492,727
			1,422,829	△27,738	1,395,091
		1 管渠費	39,431	△8	39,423
		3 処理場費	397,412	△27,818	369,594
		4 水質規制費	5,535	287	5,822
		5 総係費	112,873	△199	112,674

資本的収入及び支出

支 出

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計
1 資本的支出	1 建設改良費		1,716,996	413	1,717,409
			1,164,856	413	1,165,269
		4 事務費	25,082	413	25,495



# 令和5年度壬生町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

1. 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	218,049,208
減価償却費	749,163,544
固定資産除却費	5,598,371
賞与等引当金の増減額(△は減少)	△284
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,287,896
長期前受金戻入額	△383,661,534
受取利息及び受取配当金	△1,000
支払利息	92,638,764
未収金の増減額(△は増加)	△61,784,303
未払金の増減額(△は減少)	<u>△32,658,032</u>
小計	588,632,630
利息及び配当金の受取額	1,000
利息の支払額	<u>△92,638,764</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	495,994,866
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,523,175,377
無形固定資産の取得による支出	△20,194,399
国庫補助金等による収入	593,334,963
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	28,420,236
受益者負担金及び受益者分担金による収入	2,773,343
工事負担金による収入	<u>32,818,181</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△886,023,053
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	833,200,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>△551,338,816</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	281,861,184
資金増加額(又は減少額)	△108,167,003
資金期首残高	<u>273,979,999</u>
資金期末残高	165,812,996

# 令和5年度壬生町下水道事業予定貸借対照表

(令和6年3月31日)

(単位：円)

## 資産の部

1	固定資産			
	(1) 有形固定資産			
	イ 土地		435,873,941	
	ロ 建物	860,800,349		
	減価償却累計額	<u>△393,229,493</u>	467,570,856	
	ハ 構築物	33,467,652,513		
	減価償却累計額	<u>△14,580,135,086</u>	18,887,517,427	
	ニ 機械及び装置	6,006,639,361		
	減価償却累計額	<u>△4,138,468,045</u>	1,868,171,316	
	ホ 車両運搬具	3,508,916		
	減価償却累計額	<u>△3,293,720</u>	215,196	
	ヘ 工具、器具及び備品	27,441,439		
	減価償却累計額	<u>△25,849,358</u>	1,592,081	
	ト 建設仮勘定		<u>1,721,816,515</u>	
	有形固定資産合計			23,382,757,332
	(2) 無形固定資産			
	イ 施設利用権		<u>442,507,295</u>	
	無形固定資産合計			<u>442,507,295</u>
	固定資産合計			23,825,264,627
2	流動資産			
	(1) 現金預金			165,812,996
	(2) 未収金		230,656,760	
	貸倒引当金		<u>△7,202,758</u>	<u>223,454,002</u>
	流動資産合計			<u>389,266,998</u>
	資産合計			<u>24,214,531,625</u>

## 負債の部

3	固定負債		
	(1) 企業債		
	イ 建設改良費等に 充てるための企業債	6,894,365,353	
	企業債合計	<u>6,894,365,353</u>	
	固定負債合計		6,894,365,353
4	流動負債		
	(1) 企業債		
	イ 建設改良費等に 充てるための企業債	545,989,975	
	企業債合計	545,989,975	
	(2) 未払金	115,041,373	
	(3) 引当金		
	イ 賞与等引当金	6,360,989	
	引当金合計	6,360,989	
	(4) その他流動負債	2,100,000	
	流動負債合計		669,492,337
5	繰延収益		
	(1) 長期前受金	22,432,641,125	
	(2) 収益化累計額	<u>△10,674,856,399</u>	
	繰延収益合計		<u>11,757,784,726</u>
	負債合計		<u>19,321,642,416</u>

## 資本の部

6	資本金		4,319,327,681
7	剰余金		
	(1) 資本剰余金		
	イ 補助金	216,494,944	
	ロ 受贈財産評価額	6,269,000	
	ハ 負担金	<u>1,989,732</u>	
	資本剰余金合計	224,753,676	
	(2) 利益剰余金		
	イ 減債積立金	70,758,644	
	ロ 当年度未処分 利益剰余金	<u>278,049,208</u>	
	利益剰余金合計	<u>348,807,852</u>	
	剰余金合計		<u>573,561,528</u>
	資本合計		<u>4,892,889,209</u>
	負債資本合計		<u>24,214,531,625</u>

## 注 記 表

### 1 重要な会計方針に係る事項

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

##### ア 有形固定資産

- ・減価償却の方法 定額法による。
- ・主な耐用年数
  - 建物 8～50年
  - 構築物 35～50年
  - 機械及び装置 6～30年
  - 車両運搬具 4～5年
  - 工具、器具及び備品 4～20年

##### イ 無形固定資産

- ・減価償却の方法 定額法による。
- ・主な耐用年数
  - 施設利用権 45年

#### (2) 引当金の計上方法

##### ア 退職給付引当金

退職手当の支給については、栃木県市町村総合事務組合で共同処理しており、下水道事業からも定期的な負担金を拠出している。また、それ以外の追加費用については、発生の見込みがないため、退職給付引当金は計上していない。

##### イ 賞与等引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及びそれらに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

##### ウ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

#### (3) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

### 2 予定貸借対照表等関連

#### (1) 引当金の取崩し

##### ア 賞与等引当金の取崩し

令和5年度において、期末手当、勤勉手当及びそれらに係る法定福利費として19,083千円を支給するため、賞与等引当金5,915千円を取り崩す予定である。

##### イ 貸倒引当金の取崩し

令和5年度において、債権の不納欠損による損失に対し、貸倒引当金1,280千円を取り崩す予定である。

### 3 セグメント情報

#### (1) 報告セグメントの概要

下水道事業会計は、公共下水道事業及び農業集落排水事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、これらの2つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	主に市街地における、し尿・生活雑排水等の処理及び雨水排除
農業集落排水事業	農業集落における、し尿・生活雑排水等の処理

#### (2) 報告セグメントごとの営業収益等

令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日）

（単位：千円）

	公共下水道事業	農業集落排水事業	合 計
営業収益	519,919	65,368	585,287
営業費用	1,035,278	306,878	1,342,156
営業損益	△ 515,359	△ 241,510	△ 756,869
経常損益	115,871	104,418	220,289
セグメント資産	16,093,619	8,120,912	24,214,531
セグメント負債	12,784,674	6,536,968	19,321,642
その他の項目			
他会計繰入金	430,352	298,156	728,508
減価償却費	541,548	207,615	749,163
特別利益	206	0	206
特別損失	2,419	27	2,446
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,127,673	415,697	1,543,370